



寝屋川サマーフェスティバルが池田小学校

## 寝屋川サマーフェスティバル 今年も盛大に

でおこなわれました。  
当日は、和太鼓演奏、ジャズ体操などの催しと、多くの模擬店が出店しました。  
子ども、保護者が多数参加し交流を深めました。



日本共産党寝屋川後援会

### 出石バスツアーのお知らせ

10月22日(日)  
午前8時出発～午後5時半帰宅予定  
兵庫県出石方面、費用 6500円

## 法律相談

とき:9月21日(木)夜6時半より

ところ:市民会館第3・4会議室

予約、お問い合わせは党市議団まで

# 9月議会一般質問 20日から3日間おこなわれます

九月二十・二十一・二十二日の三日間・九月市議会一般質問がおこなわれます。

### 20日(水) 寺本とも子(1番目)

質問内容 1. 障害者自立支援法に関連して 2. 香里園再開発について  
3. パスルートの拡充について 4. その他

### 21日(木) 松尾信次(3番目)

質問内容 1. 市民の意見と市政のあり方について 2. 少子化について  
3. まちづくりについて 4. その他

### 21日(木) 田中久子(5番目)

質問内容 1. 介護保険について 2. 学童保育について  
3. その他

### 22日(金) 中林和江(4番目)

質問内容 1. 医療改善と国民健康保険について 2. 豊里川市駅南開発事業について  
3. 公民館について 4. 教育費の父母負担軽減について  
5. その他

### 22日(金) 中谷光夫(5番目)

質問内容 1. 廣平問題について 2. 第2京阪問題について  
3. その他

日本共産党は五人の議員全員が質問し、市政の問題点をただし、市民要求実現へ奮闘し

ます。各議員の日程、質問内容は左記のとおりです。傍聴におこし下さい。

# 寝屋川民報

議会版

発行  
日本共産党  
寝屋川市会議員団  
824-1181  
(内線 2399)  
FAX No. 824-7760  
Email: jgnc@ccnet.or.jp  
No. 1960

田中 ひさ子  
国分町10-36  
☎823-1714

寺本 とも子  
豊里町38-1-105  
☎829-9424

中林 かずえ  
宝町4-33  
☎839-2289

中谷 光夫  
高宮155-8  
☎823-5947

松尾 信次  
下木田町12-6  
☎821-7427

## 視界

八月一日現在の大阪府の人口は、この一年間(05年八月から06年七月)で四四三八人の増、うち大阪府は六一〇人の増、北河内地域は二一四五人の減となつています▼寝屋川市の人口は二四〇五三三人。かろうじて二十三万人台となつていますが、この一年間で一九九九年、人口が減つていました(自然増は一六三三人、社会増は一七六二人の減。ひきつづき転出増による人口減少に歯どめがかりません)▼五年度の転入・転出の数を調べました。転入が四〇三九世帯、転出が六一〇四世帯、二二六五世帯の減少。このうち香里市民センター・萱島市民センター受付分では転入が転入の二倍もあります。転出世帯の特徴は、小さい子どもが多い若い世代の世帯が多いことが共通しています▼寝屋川市の出生数は〇五年、一九七四人、はじめて二〇〇〇人台をわりました。最高時の七九五二人(一九七二年)の四分の一にも減つています。転出する子育て世代の母親が、「次に住む市は6歳まで医療費助成がある」と言つたと聞きます。寝屋川市は保育所・幼稚園・学童保育などの後退をやめ、子育て支援策などを抜本的に強めるべきです。

# あやめ保育所2割もの転所 「きわめて異例」と報道

## あいつく民営化トラブル 「NHKクロースアップ現代」で放映



NHKの「クロースアップ現代」(八月二十三日放映)で公立保育所の民営化問題がとりあげられ、「相次ぐ民営化トラブル」として寝屋川市立あやめ保育所を余儀なくされたことを「異例の事態」と紹介しました。

保育所の事例がとりあげられました。番組では、民営化にともない、二割(二十人)もの子どもが転所を余儀なくされたことを「異例の事態」と紹介しました。

### 理不尽な民営化やめるべき

あやめ保育所の廃止・民営化は、市が保護者に初めて説明した時点で、事業者募集を知らせる市広報がすでにできており、一回目の説明会で、事業者募集を強行するなど、保護者や住民の強い反対を無視して、すすめられました。

寝屋川市は反省もせず、今後九ヶ所の公立保育所の民営化をすすめようとしています。保護者、住民不在、理不尽な民営化はやめるべきです。

### 過密解消に逆行する 萱島本町7階建てマンション

萱島本町のモータープール跡地(丁A北河内寝屋川支店西側)で、七階建ての単身世帯向けマンション建設計画が明らかになりました。五七一人の署名をそえ



萱島本町自治会は八月三十日、「開発について徹底審査を」と求め、市長宛の要望書を提出しました。住民からは「周辺のマンションは三階・四階建てなのに、狭い敷地(四九九坪)に七階建てでは、住環境が悪化する」「萱島では過密住宅の解消を行政が言っているのと、逆行する」「工事で大変な声が入るのが心配」「住民と十分に話しあいの場をもってほしい」などの声寄せられています。

### 議員日誌



松尾 信次

にぎやかなセミの声がきこえなくなりましたが、わが家の朝顔はいまも、きれいな花を咲かせ、毎朝見るのが楽しみです。また暑い日が続きますが、着実に秋を

迎えつつあります。9月市議会がはじまっていますが、「住民のくらしの実態をしっかりと把握することが、議員活動の出発点」。この立場でとりくみたいと思っております。

